

町民の声

町民目線で

筒井 30代主婦

東日本大震災から二年が経ちました。もし、松前町に地震や津波が起きた時の事を思うと海が近い、山がない、何処が高いのか。一体、私たちは何処に逃げればよいのか、避難場所は何処なのか。簡単な事の様ですが、私のように自宅からの避難場所も知らない町民は数多くいると思います。

昨年、防災担当の副町長が誕生したと聞きまして。早速、ホームページで探してみました。「防災対策強化のため副町長二人制を導入」という広報の記事を読ませて頂きましたが、副町長就任後、松前町民の防災に対する意識は高まってきているのでしょうか？疑問に思っています。日々の生活の中で、町民の多くは防災に対する知識もなく意識も無いに近いと思います。私は子供達と隣の松山市へよく出かけます。子供にこれなに？と聞かれて目にしたのは、避難所までの誘導看板でした。何メートル刻みで避難所まで立ててあります。この誘導看板は子供から高齢者まで誰もがわかりやすく、その看板を目にした時、これはすごい！！素晴らしい！！と感動し、同時に松山市との違いを痛感しました。我が松前町には、その様な親切にわかりやすい表示や看板で避難所まで誘導してくれりません。我が松前町に

も誰もがわかるようにぜひとも作って頂きたいと思えます。調べてみると松前町では標高表示はあるとの事でしたが、松前町に標高表示は必要でしょうか。はつきりいつて意味がない気がします。松山市では、スーパーやコンビニなどいたる所に海拔表示がされており、南予方面にもあります。海も近い松前町には海拔表示は必要だと思えます。何故ないのかも疑問です。松前町でも、どんな

他市町村のよい所を取り入れていくべきです。防災担当の副町長さんをはじめ防災プロジェクトチームの皆さん、高齢者や子供たち・町民の安心・安全をもっと考えて、街づくりに全力で取り組んで頂きたい。誰もがわかりやすい避難所マップの作成や災害に関する冊子など作ってみてはいかがでしょうか。ぜひとも検討して頂き各家庭に配布して頂きたいです。

傍聴席

議会を傍聴して

西古泉一住民

3月7日の県議会の傍聴に続いて3月11日に松前町議会へも傍聴する機会がありましたので、その一端について感想を述べてみたいと思います。エミフルなどにより地区の交通混雑などで、新道計画があると聞き、また、近所の人も大勢行く

と聞いたので私も行ってみようと思いました。町議会の傍聴は今回が初めてで、本会議場はとも明るく清潔感がありました。傍聴席からみると町長はじめ理事者や議員との審議状況が手に取るように判り、とても親しみ易く議会運営が出来ていると感じました。町議会は我々住民の身近な問題を審議し決定する大事な場です。議会の発展の為に

我々一人一人が積極的に傍聴してこそ、地方自治が活性化するものだと痛感しました。また、一地区住民として、一日も早くこの計画道路が完成し、交通混雑が無くなればいいなと思っております。これからは、機会あるごとに本会議や各常任委員会へも、近所の仲間にも呼びかけ傍聴に行きたいと思えます。

パソコンから傍聴

パソコン傍聴

T・M

子育て奮闘中です。議会を一度も傍聴した事はありません。今回、本議会をパソコンで傍聴できると聞き、体験してみました。感想はというと、まず便利だし大変よいことだとは思いますが、ゆっく

余裕はありません。私達、子育て世代にも傍聴可能な夜間の開催なら、何とか少しでもという感じです。何より、パソコンで本会議傍聴できる事を初めて知りました。友人にも教えてあげたいと思えます。

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしています。(次回は6月中～下旬の予定です)

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。(500字程度)

【宛先】
松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

